



## 競泳の藤井選手がリオオリンピック報告 ～河内長野市長を訪問～

オリンピック・競泳男子400メートルメドレーリレーで、北京大会、ロンドン大会に続き、リオデジャネイロ大会へ出場し、見事の3大会連続出場を果たした河内長野市出身の藤井拓郎選手が、9月16日(金)午前9時に河内長野市役所に来庁し、島田智明市長にリオ大会の結果と競泳選手の現役引退の報告を行う。

同選手は、メドレーリレーの北京大会では第3泳者のバタフライで銅メダル、ロンドン大会では第4泳者の自由形で銀メダル、そして、今回のリオ大会では第3泳者のバタフライで出場し、惜しくもメダルは逃したが、5位入賞という輝かしい功績を残し、競泳選手としての現役を引退することとなった。

本市は、同選手に銀メダルを獲得したロンドン大会後、河内長野市市民栄誉賞特別賞(賞状と記念品)を贈呈した。今回は、リオ大会の入賞もさることながら、現役を引退されることから、長年にわたり、トップアスリートとして活躍され、市民に勇気と感動を与えてくれたことに、感謝の意を表すため、感謝状と記念品を贈呈する予定。

(9/16 9:00 市庁舎・1階 市民ホールにて贈呈式を行う予定)

また、市長への表敬訪問の後は、出身の市内幼稚園、小中学校と水泳をするきっかけとなったスイミングスクールを訪問するとともに、市立文化会館ラブリーホール(西代町12-46)で開催される慰労会にも参加の予定。

問い合わせ 河内長野市教育委員会文化・スポーツ振興課 (☎0721-53-1111 内線 736)

慰労会については、河内長野市水泳連盟(菊水スイミングスクール内、

☎0721-53-4880)